

東北初の
取り組み！

【河川】「水防災の公開授業」で地域防災力向上を！

平成30年7月12日
山形河川国道事務所

1. 経緯／概要

最上川上流減災対策協議会(事務局:山形河川国道事務所)の取り組みの一環として、昨年度作成した「水防災学習プログラム(案)」を
活用した公開授業を山形市立大郷小学校をモデル校として実施しました。

この公開授業は、「東北初の取り組み」として幼少期からの防災意識の啓発を図るとともに、保護者及び地域住民の方々にも参加いた
だくことで地域防災意識の向上に結びつけることを目的に実施。

この取り組み結果を「水防災学習プログラム(案)」に反映することで、最上川上流管内の学校に活用いただける実用的なプログラム作
成に生かし、次年度以降の学校での活用を目指しています。

【日 時】平成30年7月12日(木)13:50~16:10

【場 所】山形市立大郷小学校

【参 加 者】大郷小学校、保護者、地域住民、他校教諭、及び防災教育検討会(山形市、山形地方気象台、山形河川国道事務所) 55名

2. 主な取り組み内容

- ① 公開授業(授業内容:地域の特徴と避難の重要性)
- ② 保護者・地域住民・大郷小学校教諭・他校教諭並びに防災教育検討会による意見交換会の実施

3. 公開授業及び意見交換会の様子



4. 意見交換会での主な発言

- ・避難場所、持ち出す物など家庭で十分に話していたと思ったが、今日の授業で
まだまだ話し合いをして決めておく必要があると思った。
- ・自分も勉強になったし本当にいい機会でした。
- ・水害について実体験がない子どもたちにどのように水害の怖さを伝えるか、
どのように命を守るのか、大変な課題。
- ・事前の保護者へのアンケートでは、大郷地区で災害が起こる危険性について60%
の人が可能性があると答えた。今日の授業を通して100%の子供たちが災害発生
の危険性を認識するようになり、すごいと思った。
- ・子供から「お母さん、逃げよう！」と言えるようになるのがすごく良いことなのでは。
- ・大きい子(高学年)に引きづられて小さい子がついていく。親もそれについていく。
すごく重要だと思う。帰って、いろいろと準備したい。
- ・大人が水害を経験していない。経験していても逃げない。これからは子供の声をよく
聞くようにしたい。